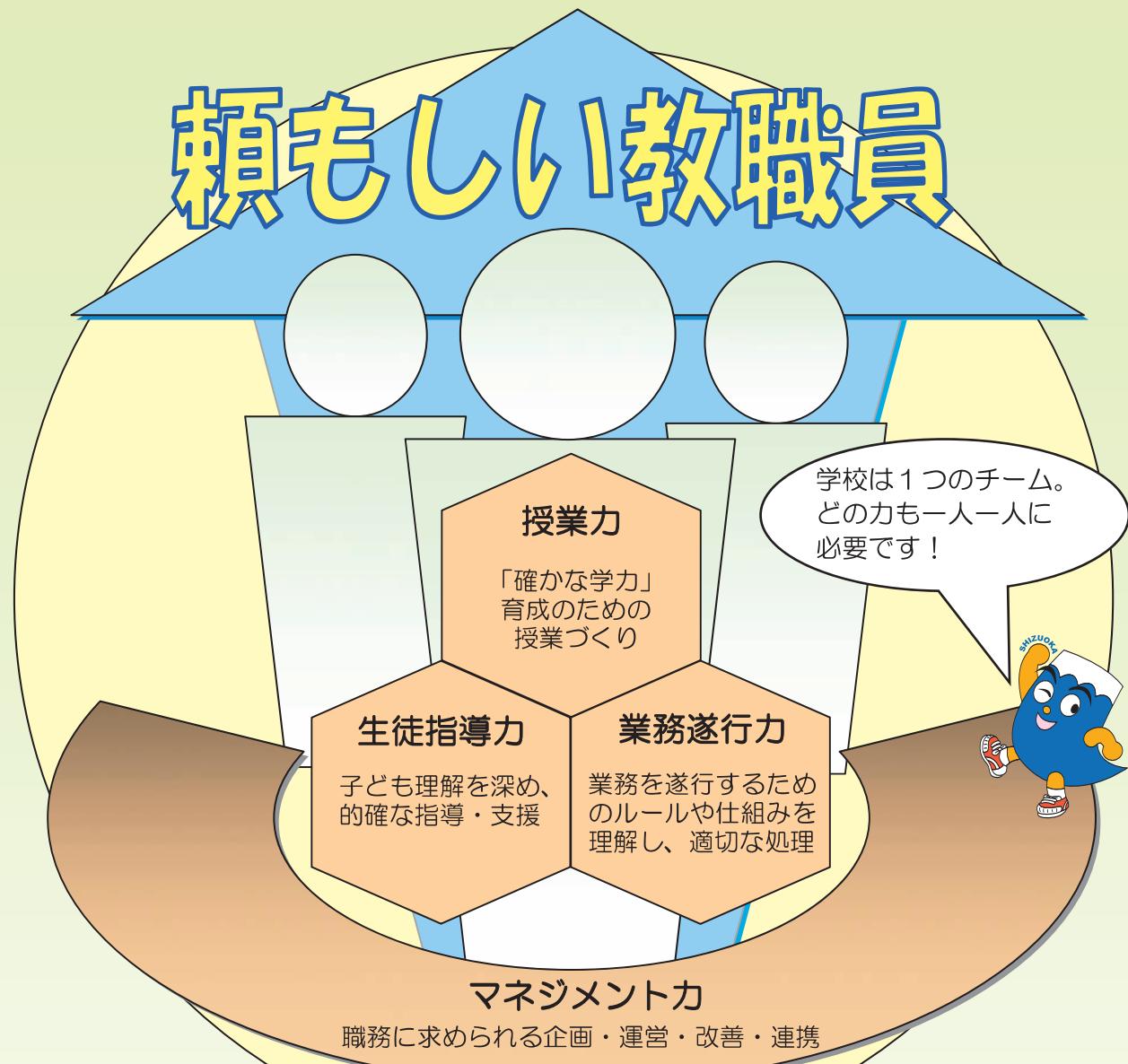


# 静岡県教職員研修指針



自己研修 校内研修 県の研修 他機関の研修

静岡県教育委員会

# 「頼もしい教職員」とは

教育活動に深い理解と熱意を持ち  
その職種の専門領域に精通するとともに  
広い視野を備えて業務に取り組む  
心身共に健全な教職員

## 研修改善の方向性

学習指導要領の改訂や、静岡県教育振興基本計画「『有徳の人』づくりアクションプラン」の策定など、国や県の動きに対応しつつ、学校の現状を踏まえた課題に取り組むことができるよう、研修の改善を図る必要があります。

そこで、新たな「静岡県教職員研修指針」では、研修改善の方向性として、次の5つを示しています。

### (1) 教職員人事評価制度、学校評価に対応した研修の充実

- ・職務遂行能力の向上を図る研修、評価者の評価能力向上を図る研修の推進

### (2) 若手教職員の育成に重点を置いた研修の充実

- ・採用後10年間を育成期間とした、次世代のリーダーとして学校運営を支えることができる力を育成する研修の推進

### (3) 経験豊かな教職員に対する研修の充実

- ・指導技術を若手教職員に円滑に伝承し、学校運営への積極的な参加を支援するための研修の推進

### (4) 学校や教職員に期待される役割の多様化に対応した研修の充実

- ・学校と家庭や地域社会との協力・連携を図る研修の推進

### (5) 今日的課題に対応した研修の充実

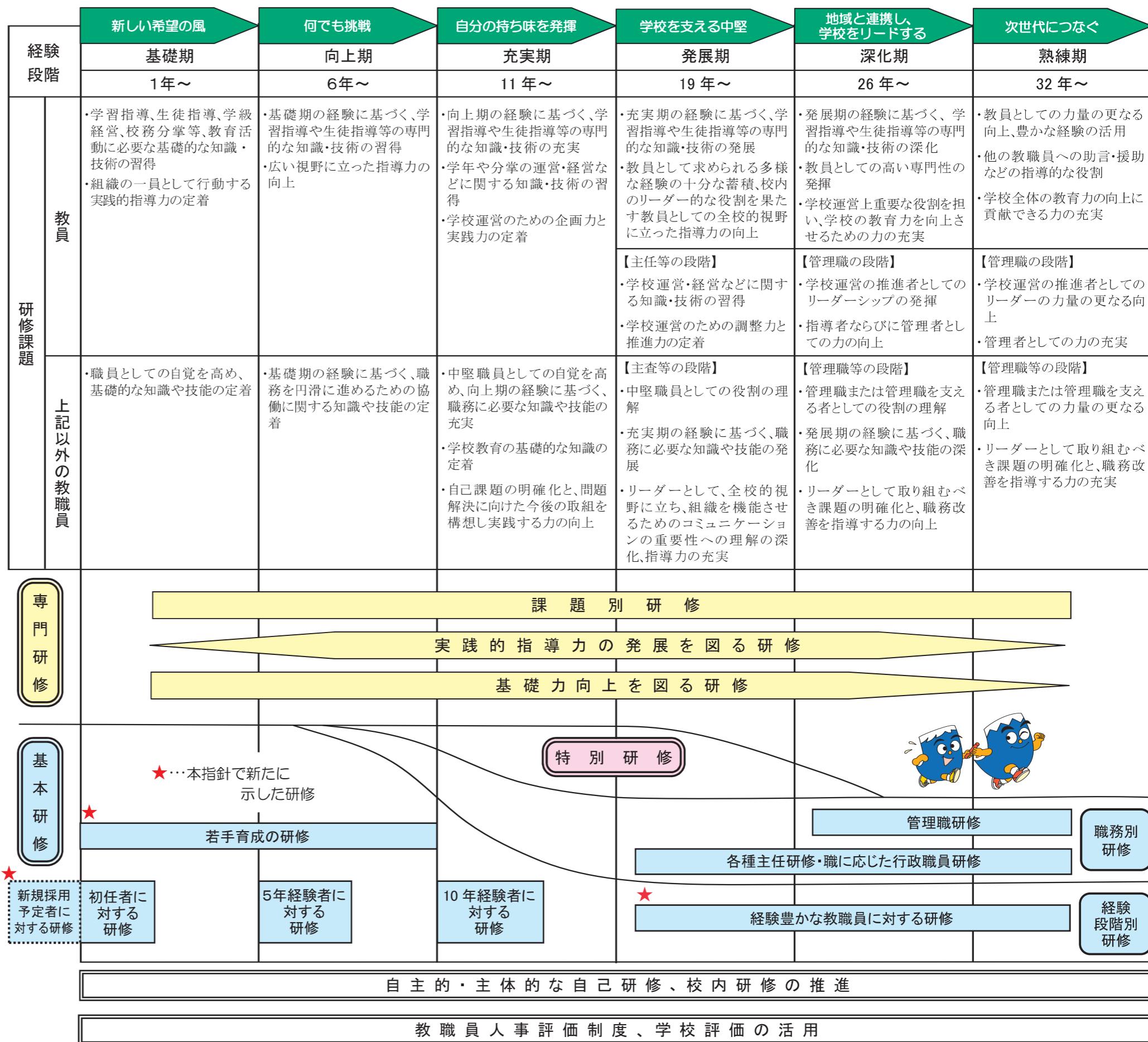
- ・国際化をはじめとする社会状況の変化、国や県の施策を踏まえた課題に対応する研修の推進
- ・異業種との交流、コンプライアンスの徹底など、学校が抱える課題に対応し、校内研修の質を高めるための研修の推進

<b>専門研修の例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に関する研修</li> <li>・教育の情報化に関する研修</li> <li>・生徒指導・教育相談に関する研修</li> <li>・生涯学習推進に関する研修</li> <li>・各種専門的な指導に関する研修</li> <li>・特別支援教育に関する研修</li> <li>・キャリア教育に関する研修</li> <li>・マネジメントに関する研修</li> <li>・行政職に関する研修</li> </ul>
---------------	---

<b>特別研修の例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期研修、実務研修</li> <li>・民間企業等長期派遣研修</li> <li>・青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア</li> <li>・大学・大学院派遣、教職大学院派遣</li> <li>・海外派遣研修</li> <li>・在外教育施設派遣教員</li> </ul>
---------------	--

## 研修体系の基本構想

教職員一人一人が理想とする姿を、長期的目標として立てるとともに、経験段階ごとに具体的な力を身に付けることを短期的目標として立て、その実現を図ることができるよう、新たな研修体系を構想しました。



# 教職員研修指針のここが聞きたい Q & A

## Q 1 全ての教職員に「授業力」「生徒指導力」「業務遂行力」「マネジメント力」が必要なのですか？

A 1 学校の抱える様々な課題に対応するには、教職員のチームワークを今まで以上に発揮することが求められます。チーム力の向上には、各職における自分の専門的な力を伸ばすとともに、異なる職種を含む同僚と協働することが必要であり、相互理解を深めるためにも、本指針で掲げている4つの力は、全ての教職員に必要です。

⇒【参照】静岡県教職員研修指針 第2章

## Q 2 自分に必要な研修を見つけるには、どうしたらいいですか？

A 2 総合教育センターでは、最近の教育課題や教職員のニーズに対応した希望研修を100以上開設しています。研修ガイドブックやホームページでは、研修ごとに、ねらい、対象、内容の紹介を行っています。また、聴講のできる講演会についても案内があります。自分に必要な研修を探してみてください。

⇒【参照】総合教育センター発行「研修ガイドブック」、<http://www.center.shizuoka-c.ed.jp/>

## Q 3 「若手育成の研修」や「経験豊かな教職員に対する研修」が新たに示されたのはなぜですか？

A 3 下の【資料】にあるように、校種・職種によってはベテランが多く若手が少ない状況で、近い将来、若手が多く中堅層が薄くなることが予想されることから、学校教育力の維持のためには、ベテランの持つ力を中堅、若手につなげるなどの取組が、今まで以上に重要となるからです。

⇒【参照】静岡県教職員研修指針 第2章及び第3章

## Q 4 校内研修と自己研修をどのようにつなげますか？

A 4 校内研修は、学校経営目標の実現に向けて、教職員一人一人の資質・能力を高めるものです。校内研修の進め方としては、同僚性を生かしたOJT(On the Job Training)の推進により、教職員の得意な分野で互いに力を発揮し合い、広げる取組が有効です。こうした取組を通して自分の課題を明確にすることで、それぞれに合った自己研修へとつなぐことができます。

⇒【参照】静岡県教職員研修指針 第3章

### 【資料】平成22年度末教職員の年齢構成

